

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証一覧表（令和3年度事業）

（単位：千円）

No	交付金事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	予算執行状況		事業期間		定量的実績指標	事業実施による感染拡大防止等の効果	
			総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日		効果	具体的な理由
1	雇用促進資格取得支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響による雇用情勢の悪化への対策として、町民の雇用・就業機会を創出するため、就職や仕事に役立つ資格又は免許等の取得に要する経費の一部を補助する。 ②③補助金690千円助率対象経費の8/10又は10万円のうちいずれか低い額補助上限額10万円 補助件数10件（実績値） 【事業費合計額】 = 1,311千円（23件分） 【補助金充当額】 = 690千円（10件分（R4.1月末実績）） ④町民	1,311	690	R3.4	R4.3	①助成金給付件数:23件 ②助成金給付総額： 1,440千円	非常に効果的であった	本事業により補助金を交付し、町民の就業機会の促進に寄与した。
2	観光体験プログラム利用促進事業	①新型コロナウイルス感染症の影響による観光客数の減少に伴い、町内観光事業者は深刻な状況にあるため、体験プログラムの利用料金の一部を補助することにより、観光産業の支援を行うとともに、町の魅力の発信及び町民の閉塞感の解消に寄与する。 ②観光事業者に対し、観光商品の嘉手納町民又はその他の沖縄県民の利用者1人につき、商品代金の8割を交付（商品種別により上限額あり）。9事業者合計10,843千円 消耗品費9千円、会計年度任用職員人件費（報酬、期末手当、社会保険料）1,138千円 【事業費合計額】 = 11,991千円 【補助金充当額】 = 10,206千円	11,991	10,206	R3.7	R4.3	①補助事業者数：9事業者 ①補助金総額：10,843千円	非常に効果的であった	観光事業者の支援を行うとともに嘉手納町の自然等の魅力のPRに寄与した。
3	防災活動支援事業	①避難所運営において、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に必要な、備蓄品を保管するための備蓄倉庫の整備を行う。 ②備品購入費（防災備蓄倉庫） ③ ・防災備蓄倉庫 341千円× 3台 = 1,023千円 ④嘉手納町役場庁舎（臨時避難所）	1,023	1,023	R3.9	R3.11	防災備蓄倉庫 3台	効果的であった	備蓄倉庫を整備することで、避難所運営において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に必要な備蓄品等を保管することができ、感染症拡大防止が図られた。
4	生活再建支援給付金事業	①新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等により収入が減少し、住居確保給付金を受給している方に対して10万円を給付することにより、生活支援を行い生活基盤の安定化を図ることを目的とする。 ②給付金 ③10万円×15件 = 【補助金充当額】 1,500千円（実績 = 20件、実績額 2,000千円） ④住居確保給付金を受給している町民	2,000	1,500	R3.6	R4.3	①住宅確保給付金を受給している方に対して10万円を給付する。 ②実績件数20件	効果的であった	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等により収入が減少し、住居確保給付金を受給している方に対して、10万円を給付することにより、生活支援を行い生活基盤の安定化を図ることができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証一覧表（令和3年度事業）

（単位：千円）

No	交付金事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	予算執行状況		事業期間		定量的実績指標	事業実施による感染拡大防止等の効果	
			総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日		効果	具体的な理由
5	生活困窮者等への食料品等支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活に困窮している方へ食料品等の提供を行う。 ②③事業費合計2,824千円（食料品等、印刷製本費、消耗品、通信運搬費）（2,539千円） ・支援件数233件 ・約10千円（食料品等）2,386千円 ・印刷製本費 69千円 ・人件費 964円×55H=53千円 ・通信運搬費 30千円 【補助金充当額】2,322千円 ④嘉手納町社会福祉協議会に対し交付	2,539	2,322	R3.6	R4.3	実績件数233件	効果的であった	新型コロナウイルス感染症により、失業や休業等で収入が減少し、日常生活に影響を受けている方に対し、嘉手納町社会福祉協議会を通じて食料品等の支援を行うことにより、生活の一助となった。
6	地域交流センター環境整備事業（コミュニティセンター）	①地域交流形成の場であるコミュニティセンター施設での感染防止対策として、十分な換気を行うために窓へ網戸を設置する。 ② ・換気用網戸新規設置（東区コミュニティセンター262千円、中央区コミュニティセンター269千円、北区コミュニティセンター544千円、南区コミュニティセンター352千円、西区コミュニティセンター432千円、西浜区コミュニティセンター248千円） ③ ・換気用網戸設置（6箇所） 【事業費合計】2,107千円 【補助金充当額】2,107千円 ④嘉手納町各コミュニティセンター（6箇所）	2,107	2,107	R4.1	R4.3	換気用網戸設置 ・東区コミュニティセンター ・中央区コミュニティセンター ・北区コミュニティセンター ・南区コミュニティセンター ・西区コミュニティセンター ・西浜区コミュニティセンター	効果的であった	地域交流形成の場であるコミュニティセンター施設での感染症防止対策として、十分な換気を行うため、窓へ網戸を設置することで、感染症拡大防止が図られた。
7	公共的空間安全・安心確保事業（公共施設・自治会）	①社会生活維持のために必要な施設において、感染拡大防止対策を実施するために必要な対策を講じる。 ②③ ・ペダル式アルコール噴霧スタンド：36,300円×217千円（備品購入費） ・飛沫感染防止アクリル板（26枚分）：576千円（備品購入費） ・体温測定及びマスク検知機：250千円×6台=1,500千円（備品購入費） ・空気殺菌機：119千円×10台=1,190千円（備品購入費） 【事業費合計】3,483千円 【補助金充当額】3,483千円×2,983千円 ④ ・ペダル式アルコール噴霧スタンド購入（役場庁舎6台（出入口2箇所、EV前BF1～3F4箇所））。 ・飛沫感染防止アクリル板26台分購入（役場庁舎1階フロア窓口26箇所） ・体温測定及びマスク検知機購入（嘉手納町各区自治会6箇所）。 ・空気殺菌器購入（嘉手納町議会議場10台）	3,483	2,983	R3.9	R4.1	備品購入 ・ペダル式アルコール噴霧スタンド（6台） ・飛沫感染防止アクリル板（26枚） ・体温測定及びマスク検知器（6台） ・空気殺菌器（10台）	効果的であった	社会生活維持のために必要な施設において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施するために必要な物資を導入することで、感染症拡大防止が図られた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証一覧表（令和3年度事業）

（単位：千円）

No	交付金事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	予算執行状況		事業期間		定量的実績指標	事業実施による感染拡大防止等の効果	
			総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日		効果	具体的な理由
8	嘉手納町公共交通運行継続支援給付金	①公共交通は、通勤・通学・買い物・通院手段として町民の日常生活を支える基盤であることに加え、観光客の移動手段としての役割も果たす重要な公共インフラです。新型コロナウイルス感染症の影響長期化により、厳しい経営環境におかれている公共交通事業者に対して運行が継続されるよう給付金を支給する。 ②給付金 ③町域内を運行（乗降可能）する定期路線（バス）1系統あたり100千円、法人タクシーについては、登録車両台数に基づき [R3.3.31時点]登録車両1台あたり200千円 バス（11系統）=1,100千円 法人タクシー18台/1台あたり=200千円×18台=3,600千円 合計事業費=4,700千円 【補助金充当額】4,700千円≒4,200千円 ④公共交通事業者（法人）	4,700	4,200	R3.9	R3.12	①支援金給付件数 ・民間バス会社=2社 ・法人タクシー会社=1社	非常に効果的であった	公共交通事業者への支援金により、安定的な公共交通の運行を確保することができた。また、コロナ禍における経営安定が図られた。
9	嘉手納町LINE公式アカウント拡張事業	①新型コロナウイルスに係る各種行政情報を必要とする町民へ早急に伝達し、遅延のない広報を行う。自動チャットボットを導入し、対面での対応を減少させ、感染症感染拡大防止を図る。また、電話業務を削減し業務の効率化を図る。 ②嘉手納町LINE公式アカウントの機能拡充を図るシステム構築委託料、管理費 ③システム構築費用1,210千円、保守料165千円（2か月分） 合計事業費=1,210千円+165千円=1,375千円 【補助金充当額】1,375千円 ④町民	1,375	1,375	R3.8	R4.3	嘉手納町LINE公式アカウントへの拡張機能の実装	非常に効果的であった	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な行政情報を迅速に届けることができた。また、自動チャットボット等の新たな機能のおかげで感染拡大防止対策を図ることができた。
10	子育て世帯支援活動事業（新型コロナウイルス感染症防止のための認可外保育施設利用料補助事業）	①認可外保育施設に通う無償化対象外の園児（無償化対象の園児は施設等利用給付により対応するため）が登園を自粛した場合に、利用料の補助を実施することで、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るとともに、認可外保育施設の安定的な運営を支援することを目的とする。 ②負担金、補助及び交付金 ③ 【6～9月実績】 4園 延べ54人 820,160円 事務費1千円×54人=54,000円 計：874,160円 補助金充当額=874千円 ④認可外保育施設に在籍する無償化対象外の児童かつ嘉手納町に居住する者に対し自粛要請に伴い減免を実施する認可外保育施設に対し補助を行う。	874	874	R3.6	R3.9	【6～9月実績】 4園 延べ54人 820,160円 事務費1千円×54人=54,000円 計：874,160円	効果的であった	認可外保育施設に通う無償化対象外の園児（無償化対象の園児は施設等利用給付により対応するため）が登園を自粛した場合に、利用料の補助を実施することで、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るとともに、認可外保育施設の安定的な運営を支援した。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証一覧表（令和3年度事業）

（単位：千円）

No	交付金事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	予算執行状況		事業期間		定量的実績指標	事業実施による感染拡大防止等の効果	
			総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日		効果	具体的な理由
11	新型コロナウイルス感染症PCR検査強化事業	①保育所等における感染拡大の防止を目的とし、陽性者発生時には、幅広い接触者に対して、PCR検査を実施する。 ②委託料 ③総事業費2,500円×349人分=1,130,000円 実績=2,500円×81人=202,500円、3,500円×268人=927,500円 計349人分1,130,000円 【補助金充当額】1,130千円 ④下記の全てを満たす場合の幅広い接触者（原則、無症状者）を検査対象とする。 (1) 陽性者が保育所等関係者（園児以外の職員等も含む）の場合 (2) 当該陽性者が感染可能期間※2に登園・登所しており接触者がいた場合 ※2 症状がある方：最初に症状が出た日の2日前から 症状がない方：陽性確定に係る検査を受けた日の2日前から (3) 接触者に対し、保健所等から行政検査によるPCR検査の指示が出されていない場合	1,130	1,130	R3.5	R3.10	2,500円×81人=202,500円 3,500円×268人=927,500円 計349人 1,130,000円	効果的であった	幅広い対象者にPCR検査を実施することにより、感染拡大防止が図られた。
12	特定中小企業者事業継続支援給付金	①感染症拡大により、影響を受ける（緊急事態宣言等に伴う休業要請に係る給付金等の対象外、かつ、売上高前年又は前々年比20%以上の減少）事業者に対して、事業の継続を下支えし、再起の糧とするため、事業全般に広く使える給付金を支給する。 ②③給付金及び事務経費 給付金一律35万円×316件=110,600千円 需用費（消耗品費及び印刷製本費）42千円 役務費（通信運搬費及び広告費）64千円 【事業費合計額】=111,262千円 《補助金充当額》=80,695千円 《単費分》=30,567千円 ④町内中小企業者	111,262	30,567	R3.9	R3.12	①支給件数：316件 ②給付金支給総額：110,600千円	効果的であった	国や県の給付金の対象外となった事業所等に給付金を支給したことで、事業継続の効果的な下支えを行った。
13	アフターコロナに向けた観光コンテンツ造成事業	①アフターコロナを見据え、道の駅かでなを拠点に、町内を周遊するための新たな観光コンテンツとして平和学習体験プログラムを造成し、誘客を図る。 ②委託料10,445千円 委託業務内容としては、町内の観光資源調査、先進事例調査、ツアーの造成、ガイド育成、県内外へのプロモーション実施、報告書作成等 【補助金充当額】10,445千円	10,445	10,445	R3.9	R4.3	ツアー造成数：3本 平和ガイド育成人数：12人	非常に効果的であった	平和学習体験プログラムが造成され、誘客する体制が整えられた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証一覧表（令和3年度事業）

（単位：千円）

No	交付金事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	予算執行状況		事業期間		定量的実績指標	事業実施による感染拡大防止等の効果	
			総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日		効果	具体的な理由
14	嘉手納町新型コロナウイルス感染症PCR検査助成事業	①県が実施している「新型コロナウイルス感染症PCR希望者検査促進事業補助金」の該当事業所に対し自己負担相当分を町が負担することにより、無料で検査できる体制を構築する。 ②委託料及び事務経費：1,533千円 ③ 検査料2,700円×136人+検査費用一式876,480円=1,243,680円 人材派遣費=181,500円 需用費=6,417円 通信運搬費=57,200円 備品購入費=44,000円 合計=1,532,797円≒1,532千円 ④町在住者	1,532	1,532	R3.5	R3.6	①受検数 136件 ②助成金給付総額 1532千円	効果的であった	感染に不安を抱える町民が迅速かつ円滑に、PCR検査を受けられる環境を整備することで、感染者の早期発見につながり感染拡大やクラスター防止対策が図られた。
15	中学校3年生放課後講座事業	①長期間にわたる新型コロナウイルス感染症の影響により、保護者の雇用環境悪化（就業の不安定さ）や収入の減少等、生徒の置かれた生活環境が厳しい状況にあると予想され、その環境が受験を控えた生徒に及ぼす影響もあると考える。そこで、希望する受験生を対象に放課後講座を実施することで、生活環境に左右されない安定的な受験支援を行う。 ②委託料 3,804千円 ③人件費 1,374千円 事業費 2,084千円 一般管理費 346千円 合計額 3,804千円 【補助金充当額】=2,700千円 ④嘉手納中学校3年生	3,804	2,700	R3.11	R4.3	高校受験53人 53人中49人が合格。 合格率92.5%の合格率であった。	非常に効果的であった	新型コロナウイルス感染症の影響により、保護者の雇用環境悪化（就業の不安定さ）や収入の減少等、生徒の置かれた生活環境が受験においての厳しい状況であったが、中学校3年生放課後講座授業を受けることで不安は解消されたと思われる。